

陳 情 文 書 表

(令和6年9月18日)

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第97号(6.9.10) 王子プール解体撤去の見直しを求める陳情
陳情の要旨	1. 12,729筆の市民の願いを受け止めていただき、王子プールは、再整備の上、現地に残すよう計画の見直しをされたい。
陳情者の住所及び氏名	神戸市灘区 「王子公園・市民ミーティング」実行委員会 代表 小林 るみ子
送付委員会	経済港湾委員会

神戸市会議長 様

2024 年 9 月 10 日

【陳情者】
神戸市灘区
「王子公園・市民ミーティング」実行委員会
代表 小林 るみ子

王子プール解体撤去の見直しを求める陳情

【陳情趣旨】

9月1日のプール開放日を最後に王子公園再整備計画の端緒ともなるプールの解体が行われることを知り、住民は、「王子プールをなくさないで！」の署名行動を始めました。とりわけ酷暑ともいわれたこの夏の最中、住民は、王子プール前だけでなく、商店街の中、駅頭等で懸命に署名を集めました。

9月3日、市内外の子どもから高齢の方まで、多くの人の願いが詰まった「王子プールをなくさないで！」の署名12,729筆を要望書とともに文化スポーツ局に届けました。

しかし、その住民の声とは関係なく、神戸市は、淡々と手続きを進めてきました。先月の8月24日19時～、王子プール解体工事の住民説明会が兵庫県福祉センターにおいて開催されました。たまたま一人の住民からその情報が耳に入ったことで、私たちは、王子プールをなくさないでほしいという思いでその説明会に参加しました。驚いたことに、住民の参加者は数名。広報が十分でないことは明らかでした。しかも、工事の説明事項についても曖昧な点が多く、とりわけ含有されているアスベストの事前調査の不十分さに、会場参加者から多数の厳しい意見・質問が出されました。

そもそも説明会として成立しているとは言えない状況でありながら、神戸市は、「説明会を実施しました」「市民の声を聞きました」という実績だけを残しました。まさに行政主導・住民不在の神戸市政の一面と言わざるを得ません。

以下、王子プール解体撤去の見直しを求め、二つの項目について陳情いたします。

【陳情項目】

- (1) 12,729筆の市民の願いを受け止めていただき、王子プールは、再整備の上、現地に残すよう計画の見直しをされたい。
- (2) 王子プール解体工事の住民説明会は、広報による住民への周知を徹底した上で、再度実施し、アスベストの事前調査等についても、事業主体としての説明責任を果たされたい。

以上

経済港湾委員会所管分は
陳情第97号

建設防災委員会所管分は
陳情第98号